平成26年8月21日
日本原子力発電株式会社

原子力規制庁 地域原子力規制総括調整官に対する申し入れについて

去る平成26年8月8日に開催された敦賀市原子力発電所懇談会、および11日に開催された敦賀市議会において、原子力規制庁 地域原子力規制総括調整官が当社敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合の審議状況について説明されました。

当社は、調整官の説明のうち、①平成26年6月21日の有識者会合での当社の説明資料と専門家の出席に係る取り扱いに関する説明、②当社が有識者会合に専門家の出席を求めた理由に関する説明に、事実誤認があると考えています。

このため、当社は、本日、原子力規制庁 地域原子力規制総括調整官に対し、改めて事実関係について確認のうえ、早急に、回答していただくよう申し入れました。

添付資料：申し入れ

以 上

平成26年8月21日

原子力規制庁
地域原子力規制総括調整官
小山田 巧 殿

日本原子力発電株式会社
敦賀地区本部長
和智 信 隆

申し入れ

去る平成26年8月8日に開催された敦賀市原子力発電所懇談会、および11日に開催された敦賀市議会での貴殿の説明のうち、当社に関係する以下の2点につきまして、事実誤認があると考えます。

本件は、当社の名誉および信用に係る重要な問題でありますので、貴殿におかれまして、改めて事実関係についてご確認のうえ、早急に回答していただくよう申し入れます。

1. 提出資料と専門家の出席に係る評価会合での取り扱いについて

貴殿は、上記の2つの場において、当社が提出資料と専門家の出席に係る問題を取り上げたことについて、評価会合の効率的な運営が行われなかった旨を、繰り返し説明されました。

しかしながら、事実は、当該評価会合の前日に行われた原子力規制庁担当官殿と当社との面談において、提出資料と専門家の出席の問題については「公開の場」で議論することを両者で確認し合ったことから、当該評価会合で取り上げたものであります。

したがって、当社が意図的に当該評価会合の効率的運営や技術的な議論を妨げるようなことになったものでは決してありません。

2. 専門家の出席を求めた当社の理由について

当社が、評価会合への専門家の出席を求めたのは、科学的な観点から当社のデータを評価したうえで、専門的な意見を表明していただくためであり、そのことは、当該評価会合に至る6月16日以降の数次の面談及び連絡等により、再三に亘り、原子力規制庁担当官殿に説明してきたところであります。

したがって、貴殿が上記の2つの場において述べられた「評価会合を評価する立場で出席していただく」というような説明を当社から申し上げたことは一切なく、また、当該評価会合の際の原子力規制庁からの出席拒否の理由においても、そのようなことは述べられておりません。したがって、貴殿の先の説明は事実と反するものと考えます。

3. その他

これまで当社からは、何回も原子力規制委員会および原子力規制庁に対して質問、要請および申し入れ等を提出しておりますが、これらに対し何も回答がありません。

原子力規制委員会および原子力規制庁におかれましては、規制当局としての説明責任として、また「国内外の多様な意見に耳を傾け」という原子力規制委員会の組織理念に則り、多くの意見を聞き、対話を行っていただきますようお願いいたします。

以 上